

Mizuho Daily Market Report

2023/9/13

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.82	147.08	+0.49	▲0.64
EUR	1.0714	1.0754	+0.0004	+0.0032
AUD	0.6427	0.6426	▲0.0005	+0.0047
SGD	1.3623	1.3606	+0.0000	▲0.0007
CNY	7.2957	7.2923	+0.0032	▲0.0110
MYR	4.6778	4.6788	+0.0058	+0.0136
THB	35.62	35.64	+0.14	+0.18
IDR	15344	15340	+15	+75
PHP	56.66	56.66	▲0.02	▲0.16
INR	82.99	82.92	▲0.11	▲0.12

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.280%	▲0.8 bp	+2.0 bp
日本(10年)	0.711%	+0.2 bp	+5.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.643%	+0.5 bp	+3.1 bp
オーストラリア(5年)	3.892%	+1.0 bp	+2.9 bp
シンガポール(5年)	3.162%	+0.3 bp	+3.9 bp
中国(5年)	2.475%	▲0.9 bp	+1.9 bp
マレーシア(5年)	3.618%	+1.3 bp	+1.8 bp
タイ(5年)	2.717%	+0.9 bp	+11.2 bp
インドネシア(5年)	6.314%	+2.5 bp	+13.7 bp
フィリピン(5年)	6.104%	▲0.8 bp	▲2.2 bp
インド(5年)	7.238%	▲1.2 bp	+5.1 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,645.99	▲0.1%	+0.0%
N225(日本)	32,776.37	+1.0%	▲0.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,242.27	▲0.3%	▲0.6%
ASX(オーストラリア)	4,097.97	+0.4%	+1.0%
FTSTI(シンガポール)	3,214.46	▲0.1%	▲0.4%
SSEC(中国)	3,137.06	▲0.2%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,453.39	▲0.1%	▲0.1%
SETI(タイ)	1,545.50	+0.3%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	6,933.969	▲0.4%	▲0.8%
PSE(フィリピン)	6,230.20	▲0.1%	+0.1%
SENSEX(インド)	67,221.13	+0.1%	+2.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	287.36	+0.4%	+0.9%
金	1,913.67	▲0.4%	▲0.6%
原油(WTI)	88.84	+1.8%	+2.5%
銅	8,367.50	▲0.1%	▲1.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.00	-	148.00
EUR/USD	1.0680	-	1.0800
AUD/USD	0.6310	-	0.6450
USD/SGD	1.3570	-	1.3680
USD/CNY	7.2800	-	7.3500
USD/MYR	4.6700	-	4.6880
USD/THB	35.35	-	35.75
USD/IDR	15300	-	15360
USD/PHP	56.56	-	57.25
USD/INR	82.88	-	83.35

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は146円台半ばでオープン。序盤からドル買い優勢の展開となったが、公示仲値決定のタイミングにかけ反落。ドル人民元の乱高下につられる格好でドル円も上下したが、午後にかけて軟調推移していた日本株が切り返す動きに連れてドル円は底堅く推移し146円台後半で海外時間に渡った。

アジア通貨は概ね小動きとなった。人民元Fixingレートが市場予想よりも元高に設定されたことを受け人民元高が進展したが、7.29円台前半では押し目買いが入り反発。しかしながら引き続き中国当局による元安率制への警戒感もある中で上値追いは限定的で7.30円台でもみ合いとなった。

欧州時間のドル円は146円台後半で動意薄く推移し米州時間へ。米州時間午前は米短期金利が高水準で推移する動きが支えとなり、ドル円は底堅い推移を見せ、147円台前半まで上げ幅を拡大。午後にかけては米8月CPIの発表待ちムードが広まり、147円台前半で推移しクローズ。

【金利】

米金利市場は、中期ゾーンで前日比上昇し、金利カーブはツイストフラット化。米州時間の指標発表は少なく、市場は明日に予定されている8月CPI(消費者物価指数)の発表前の様子見ムードが強かった。午後に入り発表された10年物国債の入札結果は予想通りとなり、市場には影響は限定的となった。

【予想】

本日は海外時間に予定される米CPIの発表を控え、アジア時間は様子見ムードが強まるか。米CPIについては足元で食料品価格の上昇の影響を受け総合では前回よりも上昇する一方、コアについては引き続き低下傾向が見込まれている。米CPIが市場予想を上回った場合、ドル高で反応することが予想されるが中国が人民元安への警戒感を強めておりドル高で反応した場合にはドル売り・人民元買い介入を行うことも予想され、ドル高の値幅は限定されやすい環境にあるものと予想。

【本日の予定】

(日本) 3Q 景況判断BSI大企業全産業 / 景況判断BSI大企業製造業
(日本) 8月 国内企業物価指数
(アジア) 8月 NZ 食料品価格
(アジア) 8月 インド 貿易収支
(アジア) 8月 韓国 失業率
(アジア) 8月 韓国 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(欧州) 2Q 伊 失業率
(欧州) 7月 ユーロ圏 鋳工業生産
(欧州) 7月 英 GDP
(欧州) 7月 英 サービス業指数 / 建設業生産高
(欧州) 7月 英 貿易収支 / 鋳工業生産 / 製造業生産
(欧州) 伊 国債入札(3Y、7Y)
(欧州) 独 国債入札(15Y、30Y)
(米国) 8月 CPI
(米国) 8月 実質平均時給 / 実質平均週賃金
(米国) 8月 月次財政収支
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(30Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。